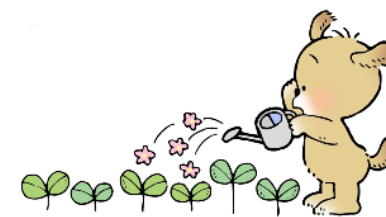


自ら学ぶ子どもたちをめざして

家庭を「学びを支える」環境に



その1 「早寝早起き朝ごはん」から始まる基本的な生活習慣

早寝・早起き・朝ご飯が要になります。

毎日の生活で、早寝早起き、規則正しい食事を心がけることで、朝の排便ができる時間が生まれ、登校の準備もゆとりをもってできます。

朝、顔を洗って服装を整えるうちに、脳が働きはじめ、気持ちがだんだんと学校に向かっていきます。元気な声であいさつをして登校し、脳が活発に動き始めたところで授業が始まるので、効率よく学習内容が入ってきます。

しっかりと学校で働いた脳と体は、食事によって栄養を得て、睡眠によって、脳を含めた体を修復し成長させます。

その2 家庭でも集中できる学習環境を

学校では、子どもたちが集中出来る環境づくりに気をつけています。例えば、集中力をそいでしまわないよう、教室の前面はできるだけシンプルにしています。また、芯が折れやすいシャープペンシルは禁止し、使いやすく飾りのない文房具を使うように声をかけてるなど、様々な面で指導しています。

家庭では、基本的な生活習慣の基盤の上に、学習の定着を助ける学習ができるようにすることが大切です。

できるだけ決まった場所で、一定時間、テレビを消し、途中で席を立たなくてもよいようにするなど、学習に集中できる環境を整えることが必要です。



その3 学習習慣の定着をめざしましょう

せっかく学校でたくさんの勉強をしても、復習しなければ、脳は不要な情報として整理し、忘れてしまいます。安定した生活リズムの中で、毎日継続して学習に取り組むことが大切です。

低学年は6年間の基礎になる大切な時期です。

「宿題をきちんとやりきる」ことを身につけさせましょう。そして音読をしっかりとしましょう。この時期の大人の手助けが、自分で学ぶ子どもへと育てます。

中学年は、宿題をきちんとやりきるだけでなく、学習の時間を少しずつ長くしていく必要があります。特に4年生から学習内容がさらに難しく感じられるようになります。自信をもち、意欲を高められるような励ましが大切です。

高学年は、授業の予習や復習、自主学習など、自学自習の習慣を身につけさせることが目標です。中学校では教科担任制になり、自分で判断して予習や復習などに取り組まなければなりません。見守りながら励ますことが大切です。

子どもたちが安心して学べるように家族の協力が不可欠です。

その4 準備は家庭と学校の学習をつなぎます

忘れ物をする则自分の勉強に困るだけでなく、授業全体に支障をきたすことがあります。みんなで勉強しているのだから一人の問題ではないという集団の意識や責任感を育てるためにも、忘れ物をしない、ということはとても大切です。

学校では連絡帳に予定を書くよう指導しています。自分で連絡帳を見ながら、何が必要かをイメージし、見通しをもって学校に来ることができ、子どもたち自身も安心します。宿題や自学の後に、翌日の準備をきちんとすませるようにしましょう。

保護者向け

1・2年生の家庭学習



基本的な学習習慣を身につけるために

○ 1・2年生では…

学習の目安
15分～30分

- ☆ 学習習慣の定着のためには、「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」などの基本的な生活習慣を身につけることが最も大切です。
- ☆ 学校生活を心配なく過ごすためにはまず、**持ち物がそろう**ことが大切です。持ち物の準備は、はじめのうちは一緒に準備してください。準備の仕方が分かったら、お子さんが準備したものを点検してあげてください。
- ☆ 家庭学習については、難しい勉強をするのではなく、学校での学習を受けて、(できた!)と思えたり、(ふしぎだな?)と思ったりする気持ちを大切に取組むと良いでしょう。

★家庭の援助としては、

- ①お子さんの生活・学習環境を整えること
(生活習慣、持ち物・お便り・連絡帳、家庭での約束)
 - ②学校での学習について尋ねたり、つまづきを一緒に考えたりすること
 - ③がんばりを認めほめてあげること
- の3つです。

お子さんの学習意欲が高まり良い習慣をつけるために、この時期はとても大切です。

1・2年生で身につけたいこと

○ 学習習慣 (全学年共通です)

- ・ 家庭学習の場所を決め、テレビを消して取り組む
- ・ 背筋を伸ばして勉強する
- ・ 教科書やノートにきちんと折り目をつける
- ・ 下敷きを忘れずにしく
- ・ 鉛筆を正しく持つ ・ 消しゴムできれいに消す
- ・ 定規をつかってまっすぐなせんをひく
- ・ ノートにいたずら書きなどせず、最後まで使い切る
- ・ 鉛筆を削ったり教科ごとに必要なものを準備したりする (連絡帳)

○ 音読

- ・ はっきりとした声で読む
- ・ 句読点 (「、」や「。」) に気をつけてすらすら読む

○ 書く

- ・ ひらがな、カタカナを正しく書く。(「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」なども)
- ・ 1・2年で習う漢字 (1年80字、2年160文字) が読み書きできる。(達成目標: 読み90パーセント以上、書き80パーセント以上)
- ・ 「て」「に」「を」「は」「が」などを正しく使って文章を書く。
- ・ 作文 (いつ、どこで、だれが、なにをしたか、気持ち) を書くことができる。

○ 聞く・話す

- ・ 相手の顔を見て、分かろうとして話を聞く。
- ・ 順序よく話をする。

○ 計算

- ・ たし算、ひき算が正しくできる。(くりあがり・くりさがりの計算など)
- ・ 九九がスラスラ言える。
- ・ 時計が読める

3・4年の家庭学習



自主的な学習習慣を 身につけるために

○ 3・4年生では

自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなります。「やる気」や「根気」が育つ時期です。

言葉の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになっていわれています。「9歳の壁を超える」と言われるのは、このことです。壁を前にして「急に勉強が難しくなった」というとまどいや苦手意識を持つ子どもも出てきます。

意欲を膨らませたり、自信を持たせるように励ましながら、ねばり強く学習に取り組む習慣を身につけられるようにすることが大切です。

☆ まずは、1・2年のプリントで、学習習慣が身に付いているかチェックしてみましょう。できていないことがあれば、あせらずじっくり、そこから一つずつやっていくことが大切です。

※学習習慣は基本的に全学年共通です。

★ 家庭の援助としては、

お子さんの段階によって、自分で取り組んでいるお子さんのそばで見守ることから、だんだんと自分一人でもできるように励ますことが大切です。

一人でできた、という自信をつけさせながら、大人の目で確認をし、より中身のある家庭学習に導くことが大切です。

○ 3・4年で身につけたいこと

学習の目安

30分～60分

◎ 国語

- ・ 学習した漢字を読み書きできる（3年生200字、4年生200字）
- ・ 意味を考えたり気持ちを込めたりして読む
- ・ 読むことを通して慣用句やことわざなどに親しむ
- ・ 3年生は国語辞典、4年生は国語辞典と漢字辞典を使える
- ・ 主語と述語がわかる
- ・ 句読点（「、」や「。」）を使って文章が書ける
- ・ 1つのテーマで250字～320字の作文を書くことができる
- ・ 15分～20分集中して読書ができる
- ・ ローマ字を読み書きする
- ・ 詩やことわざを暗誦する

◎ 算数

- ・ 三角定規、分度器、コンパスを正しく使う
- ・ はかりが正しく使える
- ・ 筆算の方法を覚え、正しく計算する
（かけ算・割算の筆算、小数・分数の計算）

◎ 社会

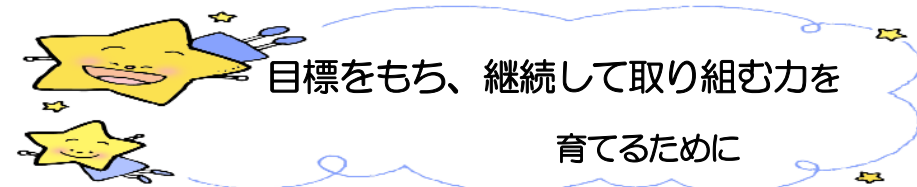
- ・ 地図帳の使い方（4年生）がわかる

◎ 理科

- ・ 温度計が読める
- ・ 方角（東西南北）が分かる

3年生と4年生では心もずいぶん変わります。一緒に体を動かすなどコミュニケーションをとり、学校と相談しながら、お子さんにあった援助をしていくことが大切です。

5・6年の家庭学習



取組次第で大きく差が出る・5年生
中学校生活への準備・6年生

学習の目安
50分～90分

○5・6年生は

学習内容が多くなり、論理的な内容や 抽象的な思考を伴う 学習が増えます。筋道を立てて考える力や 広い視野で物事を見る力が必要になります。

経験と学習が結びつき、応用力がつく頃です。

考える力が大人と同じくらいになり、時には大人への反抗も見られるようになります。

やればできるという気持ちをもたせ、子どもの自信をのばすようにほめたり励ましたりすることが大切です。できるだけ口や手は出さず、目は離さない姿勢が大切です。

☆ 夜更かしをせず、テレビやゲームの時間が1時間半を超えないように気をつけてあげることが大切です。家族の一員として家事を任せるなどして、テレビなどから気持ちをそらせることも有効です。

☆ 毎日、宿題と自学に自分で取り組めるようになったことをほめてあげてください。

☆ 内容は、お子さんと学校で相談して決めることもありますが、自分の興味のあることに取り組むことも素晴らしいです。家族

と一緒に考えたり、新聞やニュースなど社会の話題などにも関心がもてるよう、共通の話題に取り上げることも良いことです。

(家族に関心をもってもらっている、何でも相談していいんだ)と本人が感じられることが大切です。

○5・6年で 身につけたいこと

◎ 国 語

- ・ これまで学習した漢字の読み書き (同じ音でも意味で使い分け)
- ・ 文法の基礎的な知識 (主語・述語、動詞・名詞など)
- ・ 慣用句やことわざの意味
- ・ ローマ字の読み書き

◎ 算 数

- ・ 小数・分数の計算
- ・ 公倍数や公約数
- ・ 割合、百分率
- ・ コンパスや分度器を使って平面・立体の図形をかく
- ・ 単位の変換

◎ 社 会

- ・ 都道府県の位置、県庁所在地、特産品など (地理と産業を結びつけて)
- ・ 歴史上の事件や人物についての説明
- ・ 憲法や三権分立についての説明
- ・ 世界の主な国々の位置を正しく示す

◎ 理 科

- ・ 実験道具の名称と使い方が分かる (顕微鏡やてんびんなど)
- ・ 条件を整えて実験し、結果から考察できる

◎ その他

- ・ 新聞を読む習慣が身に付く
- ・ 幅広く読書する

